



香川県教育センター 教育ライブラリーだより

第31号 令和7年10月23日

ようやく秋らしくなりました。ヒガンバナに赤とんぼ、涼しい風。読書の秋、研究の秋の到来です。教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。研究や研修にぜひお役立てください。教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。基本的に土曜日でも利用できます。開館予定日は当ホームページでご確認ください。

書籍紹介

①「あの子のつまづきを見える化する方法」

樋口一宗/著 (東洋館出版 2015年発行)

あなたのお子さんやあなたが担任している学級の中に次のような課題を抱えている子どもはいませんか? 「漢字がなかなか覚えられない」「コンパスで円が描けない」「雑巾を絞れない」・・・など。「～できない」と捉えがちな大人と、「がんばりたくてもがんばれない」子どもたちとの間を上手に取り持ってくれる本のご紹介です。

この本は、前述のような子どもが抱える課題20ケースを取り上げ、そのつまづきの原因を教育的な観点からだけでなく、認知科学や医学の角度から「見える化」しています。さらに、そのつまづきに対してどのように支援すれば、子どもに「できた」「わかった」という感動を提供できるかについても詳しく述べています。

「～できない」のはその子の特性だから仕方ないといった思い込みから脱却し、どの子どもにも「できた」「わかった」という感動を提供できる教師の専門性を磨きたいあなたにお勧めします。

②「授業力&学級経営力 10月号」

(明治図書 2025年発行)

雑誌「授業力&学級経営力」10月号の特集は「失敗する授業×成功する授業」です。教師なら誰もがよい授業をしたいと思っていることでしょう。今日の授業はうまくいった。いや、今日の授業は失敗だった。授業ごとに反省することも多いのでは。特集では、導入や発問、指示など、様々な授業場面ごとの注意点や着眼点、そして協働的な学びや探究的な学びなどの学習形態ごとの着眼点が具体的かつコンパクトにまとめられていて読んでいて授業が上手になりそうな気がしてきます。

「でも、そもそも、授業の失敗、成功ってどういうこと?」というコラムもあります。自分では成功したと思っているけど、授業がスムーズに流れただけであって、本当に子どもたちの学びにつながっていたのか、そもそもその授業のねらいは何だったのかなどと考えさせられます。授業のねらいが明確でなければ成功か失敗かの判断すらしようがないのです。授業が「失敗だと捉えられるような力がなければ授業力は向上しない」。だから「『失敗した』と悔しがっているのは成長している証拠なのです」という言葉に勇気づけられます。

雑誌紹介

雑誌名	号	特集等(抜粋)
国語教育 (明治図書)	10月号	【総力大特集】国語と「探究」の授業デザイン ◇「探究」のポイント総整理 ◇国語科での「探究」の授業デザイン

		◇「話すこと・聞くこと」と「探究」の授業デザイン ◇「書くこと」と「探究」の授業デザイン ◇「読むこと」と「探究」の授業デザイン 【連載】◇学びが見える！今月の国語板書録 ◇言葉による見方・考え方を働かせる学習課題 ◇生成 AI vs.作文教育 作文教育における AI との協働
社会科教育 (明治図書)	10月号	【特集】問いから授業を構想しよう！「なぜ」にこだわる歴史授業 ◇「なぜ」にこだわる歴史授業デザイン 歴史をいかに教えるべきか ◇子どもの「なぜ」をどのように「意味あるもの」にするか ◇歴史の「なぜ？」子どもからの疑問をこう活かす ◇「なぜ」にこだわる歴史授業 このテーマをこう授業化する ◇[授業最前線] 問いから授業を構想しよう (小・中・高) 【連載】◇授業づくりの教科書 水を治める者は国を治める ◇アメリカ合衆国一体化の裏側 西部開拓と先住民排斥 ◇水道料金のリアルと地理授業デザイン
数学教育 (明治図書)	10月号	【特集】完全保存版 定期テストの良問100題 後編 【連載】◇「かく」ことで数学の資質・能力を付ける ◇目標づくりから考える数学の授業デザイン ◇テストづくりの技術を磨く 3つを並べてみると… ◇明日から使える!? 「合同・相似」の鉄板ネタ
理科の教育 (東洋館出版社)	10月号	【特集】理科授業でこんなこともできる！ 教室を飛び出し、ダイナミックな実践に挑戦しよう！ ◇ダイナミックな授業実践の工夫と効果 ◇ダイナミックな実践事例 (小学校) (中学校) (高等学校) 【連載】◇2力の合成 的当てゲームでイメージ化 ◇凸レンズを通る光の道筋を可視化する 装置とシミュレーションを活用して ◇驚異の大食漢幼虫 ◇「フィンガーバード」を用いた進化のシミュレーション ◇太陽系の広がりとスカスカを実感する 太陽系モデルをグラウンドと地図上に作ることによって ◇惑星の音ってどんな音？
英語教育 (大修館書店)	10月号	【拡大特集】「失敗」を活かして授業を改善しよう ◇「踏み込み」と「振り返り」を称える全校行事「失敗の日」 ◇より良い授業を追い求め続ける奮闘記 ◇「失敗」を「学び」に変える訂正フィードバックを活用しよう！ ◇テストの理論に学び、失敗に学ぶ テスト問題が作れない？採点できない？ ◇元「ビリギャル」に聞く 「失敗」を糧に成長するマインドセットの育て方 ◇「失敗」から「あたりまえ」のアップデートへ ◇読者から寄せられた「わたしの失敗&授業改善」エピソード ◇[実録マンガ] 英語教員よもやま話 リテリングの導入で

道徳教育 (明治図書)	10月号	【特集】授業でやってみたくてたまらなくなる「書く活動」 ◇道徳授業における「書く活動」の今日的な意義 ◇書きたくてたまらなくなる！「書く活動」の事前準備のポイント ◇ノート？ワークシート？端末？ベストチョイスと工夫のアイデア ◇とっておき！ノート・ワークシート・端末の活用アイデア ◇授業でやってみたくなる「書く活動」アイデア ◇やる気アップ！「書く活動」の評価と事後指導 ◇これで解決！「書く活動」の困ったQ&A 【特別企画】世界のDOUTOKUに！「手品師」in France レポート ◇〔授業記録〕フランスで「手品師」を授業する
授業力&学級経営 力 (明治図書)	10月号	【特集】超解明 失敗する授業×成功する授業 ◇そもそも、授業の失敗、成功ってどういうこと？ ◇「授業場面」の視点から 導入、個人思考、問いづくり、ペア対話、振り返り・まとめ 等 ◇「授業技術」の視点から 発問、指示、説明、板書、机間指導、ノート指導、指名 等 ◇「教科の学習」の視点から 音読、漢字指導、作文、計算練習、文章題、資料の読み取り 等 ◇「学習形態・学習法」の視点から 個別最適な学び、協働的な学び、自己調整学習 等 【連載】◇12か月の学級通信ネタ 10月 ◇「働き方改革」のマインドセット&実践事例 ◇学校の中の“まちがえない”合理的配慮 支援の必要性、どう判断
生徒指導 (学事出版)	10月号	【特集】「待つ」を問い直す、生徒指導 ◇なぜ、そして、何が、「支える」生徒指導なのか ◇役職・立場における「待つ」ことを含めた振る舞い ◇授業における「待つ」 ◇子どもの支援から見た「待つ」 ◇学級経営ではリーダー・フォロワーを育てて「待つ」 【連載】◇学校に必要な「ナナメの関係」の有効な活用 ◇今だから質問しよう！ 子どもたちの清掃って必要なの？ ◇不登校の「その後」を考える さわやかな風が吹き込む学校づくり ◇生徒指導事案リーガルナレッジ 学校はどこまで対応すべきか ◇中高生のネット・SNSトラブルに対応した情報モラル教育 ◇なやみ、想い、振り返る 適切な修学支援とは
教職研修 (教育開発研究所)	10月号	【特集1】給特法等の改正で変わる教師の処遇、変える教師の働き方 ◇文科省に聞く、給特法等改正のねらい ◇制度がこう変わる ①学校における働き方改革のいっそうの推進 ②組織的な学校運営および指導の促進 ③教員処遇の改善 ◇「業務量管理計画」のイメージは ◇学校を「働きやすく」「働きがい」のある職場にするために 【特集2】「ヒト・モノ・カネ」をあきらめない ◇学校教育予算増をめざして ◇現場の工夫も限界です！ 教育政策の優先順位を問い直す

		◇教育予算 三つの論点整理 少ないのか・なぜ増えないか・どう増やすか ◇教育予算を増やすには、一点突破と総力戦 ◇学校事務職員から見た学校予算の有効活用 ◇もしも、広告代理店が「教育予算増」を社会に訴えるなら。 改め、もしも、広告代理店が「教育予算増」を成し遂げるなら。
初等教育資料 (東洋館出版社)	10月号	【特集1】個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 事例1 [国語科]一人一人の読みたいを大切に、自立的に読み深めていく「読むこと」の学習 事例2 [社会科]“その子らしさ”からつくる社会科の学習と教師の役割 事例3 [算数科]対話とクラウドで一人一人の考えをつなぐわり算の筆算の学習 事例4 [理科]個別、協働、全体から、植物を共通性・多様性の視点で捉え、資質・能力を育成する授業づくり 事例5 [生活科]子供一人一人の思いや願いの実現を支える環境づくりの工夫 事例6 [音楽科]一人一人が活動の仕方を工夫しながら学ぶ楽器の学習 事例7 [図画工作科]一人一人の思いを生かした共同してつくりだす活動を通して 事例8 [家庭科]一人一人の願いや思いを大切に、生活を豊かにするための布を用いた製作の学習 事例9 [体育科]楽しさに触れ、資質・能力を育むマットを使った運動遊び 事例10 [外国語科]子供一人一人が伝えたい内容を考え、学び合いを通して内容を深める「書くこと」の指導 事例11 [特別の教科 道徳]自己を見つめ、多面的・多角的に考える道徳科の指導の工夫 事例12 [総合的な学習の時間]個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を具現する3つのポイント 事例13 [特別活動]なりたい自分を描き、自主学習を充実する学級活動 【特集2】[社会]問題解決の見通しをもつ活動の重視
中等教育資料 (学事出版)	10月号	【特集】[高等学校]各教科等を交えて語り合う①～資質・能力の明確化～ ◇数学科において資質・能力を明確化する意義 ◇資質・能力の明確化と授業づくり ◇高等学校水産科における資質・能力の明確化と教育課程の改善に向けた視点 【連載】各教科等の改善/充実の視点—各教科調査官
実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)	10月号	【特集】子どもの意思に基づく！計画&授業づくり PCP (パーソン・センタード・プランニング) ◇実践1 「この服を着たい」「やってみたい！」 意思を表示し、周囲に発信する力を育む ◇実践2 子どもの「願い」を捉え、チームで支えるために 意思表出の代替手段と「願い」を基点にした指導計画 ◇実践3 子ども自身の意思と言葉でつなぐ！「僕が伝えたいこと」 子どもの「やりがい」に伴走した2年間

		【連載】◇「九九ならべ・マッチングゲーム・どっちっち」 ◇思春期の子どもを支える中学校通級 卒業した元通級生徒たちの声③ ◇知的障害特別支援学校高等部における理科の授業&教材 デジタル顕微鏡と簡易蒸散計を活用した「植物の水の通り道」の授業づくり ◇「子どもを取り巻く校内環境を可視化する」 ◇こどもを理論的に捉えるみたてラボ ことばが使えるということ ◇特別支援教育の今をキャッチ！ 少子高齢化により教育人口が減少する状況下での特別支援教育の拡大と児童生徒数の増加 ◇アドバイスをしないサポート ヤングケアラーの経験から見たこと ◇知的障害特別支援学校における外部専門家（言語聴覚士）の介入とその効果 前言語期の事例 ◇子どもの願いを実現していく「各教科を合わせた指導」の展開
特別支援教育研究 (東洋館出版社)	10月号	【特集】社会参加する力を育む「社会科」 ◇主体的に社会参加する市民を育成する社会科授業づくりの在り方 ◇たてわり班活動を生かした買い物学習の実践 ◇社会科につながる生活科の実践「どんな仕事？聞いてみよう」 ◇中学部社会科を核とした防災安全教育のつながりと広がり ◇社会参加する力を育む防災教育 ◇「社会的な見方・考え方」に基づく授業づくり ◇社会参加をひらく“つながり”のある社会科 【連載】◇特別支援学校のセンター的機能 ◇子どもの行動の問題に適切に対応するには？ ◇音楽の教材・教具レシピ Part 1 ◇各教科等の評価の実際⑤（職業・家庭） ◇子どもの「学びと育ち」を支える自立活動 Part1 ◇学びのユニバーサルデザイン（UDL）との出会いと初挑戦の記録 ◇「作業学習」の一年間 この時期こそ、新製品の開発に取り組むべし！ ◇自立に向けた金融経済教育に関する授業づくり ◇障害のある生徒たちの働く学びの「質の向上」を願って
学校図書館 (全国学校図書館 推進協議会)	9月号	【特集】授業に生かせるデジタル情報源を知ろう！ ◇新聞記事データベース/ニュースサイト ◇オンライン百科事典 ◇図書館や博物館などのデジタルアーカイブ ◇動画サイト ◇政府や官公庁が提供しているサイト（子ども向け統計など） ◇学習指導や情報検索等に役立つサイト ◇検索エンジン ◇選書に役立つサイト ◇さまざまなお役立ちサイト
高校教育 (学事出版)	10月号	【特集】教科専門性を「更新」する ◇これからの教科専門性と専門性発達の方法 ◇各教科等の専門性を生かすカリキュラム・マネジメント ◇これからの国語教育のためにも確認したい「不易」 ◇「理科」の教科専門性を更新する ◇これからの「外国語」の教科専門性とは 【付録】地学の知識で地震から生き延びる方法（上） 【連載】◇地域と共に生徒の未来をデザインする

		◇小諸義塾高校（仮）開校に向けて 自分の「好き」をきわめる学び ◇教育と法 いじめ被害申告を受けた学校の対応
学校事務 (学事出版)	10月号	【特集】いま、改めて「学校徴収金」に向き合う ◇「対話」と「協働」で実現！ 始めよう学校徴収金改革 ◇保護者負担軽減の実践 問題化されない問題への挑戦 ◇教材費公会計化に合わせた業務効率化と人材育成 ◇学校徴収金が問う、今後の学校経営 【特別企画】◇学校徴収金の集金方法を見直してみませんか？ ◇教員の目線から事務職員と共に改善したいと考えるいくつかの提案 【連載】◇子どもの権利が満たされる学校へ 何が「無料」になるの ◇自作システムでちょっと便利！ 保険料控除申告書作成システム ◇今月の書評 『学校給食費無償と教育の未来』 ◇学校林の整備による教育資源の再生 既存の枠にとらわれない資金獲得 ◇気になる教育トピック 2025年度人事院勧告の内容 ◇高校段階の修学支援制度：国の制度の基本的構成
指導と評価 (日本教育評価研究会)	10月号	【特集1】次期学習指導要領への期待 ◇次期学習指導要領は何をめざすのか ◇「中核的な概念」による学習指導要領の構造化 【特集2】教師の自己開示・自己理解 ◇教師の自己理解を深める教育相談 ◇教師自身の心の奥にある声に耳を澄ます ◇教師の「心のくせ」に気づこう 毎日をラクにする認知行動療法のヒント ◇子どもとの関係を「見える化」する教師のリフレクション ◇授業に関するメンタルモデルを掘り下げる